



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 15 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 26 年 12 月
3. 出張目的 「インドシナ農山村」現地アニュアルミーティングの参加等：C

4. 成果の概要

ラオス国立農林研究所（NAFRI）において本年度の現地検討会を開催した。本プロジェクトで実施中の 10 課題すべてについて成果を発表し、相互に意見交換を行った。発表者は主としてラオス人カウンターパートで、事前に JIRCAS 担当者と協議・準備をしていたので、スムーズな発表ができた。総合討論では、

- 1)低地水田の利用高度化、
- 2)近隣畑地での陸稲を中軸とした持続的集約化の二つの論点について、日本人とラオス人の双方の研究者から積極的な意見を聴取できた。

上記ミーティングに先立ち、NAFRI 所長を表敬訪問し、12 月に開催を予定していたプロジェクトワークショップの延期のお詫びを申し上げるとともに、来年 6 月上旬を目途に、改めてワークショップを計画することを伝え、了解を得た。

また、課題Ⅲ-1（自立的複合経営システム確立のための社会経済的条件の解明）の担当者として、プロジェクトサイトにおける稲作作業実態調査を、NAFRI の農林政策研究所に業務委託した。